

地場企業の経営動向調査

(平成23年度第2・四半期)

平成23年11月7日

 福岡商工会議所

総合企画本部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

調査対象

当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業 1,388社（構成比率92.5%）、大企業112社（構成比率7.5%）により構成されている。

回答した企業数は 648社、回答率 43.2%となっており、回答企業の内訳は、中小企業598社（構成比率92.3%）、大企業50社（構成比率7.7%）となっている。

※ 中小企業の範囲は中小企業基本法の定義に基づく。

調査要領

四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成23年7～9月期の実績、及び平成23年10～12月期の予想について、平成23年9月末時点で調査した。

調査内容

※DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI …… Diffusion Index（景気動向指数）の略

《 景気・経営動向調査 》

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 売掛期間
8. 資金繰り
9. 100万円以上の新規借入

平成23年度 第2・四半期

調査対象企業数及び回収結果

規模別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	648	43.2%	
中小企業	1,388	598	43.1%	92.3%
大企業	112	50	44.6%	7.7%

業種別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	648	43.2%	
建設業	233	118	50.6%	18.2%
土木建設業	82	41	50.0%	6.3%
建設付帯工事業	73	30	41.1%	4.6%
電気・管工事業	78	47	60.3%	7.3%
製造業	183	89	48.6%	13.7%
食料品製造業	36	19	52.8%	2.9%
繊維製品製造業	12	6	50.0%	0.9%
建材・木・紙製品製造業	15	6	40.0%	0.9%
印刷・製本業	29	14	48.3%	2.2%
窯業・土石製品製造業	10	5	50.0%	0.8%
金属製品製造業	18	11	61.1%	1.7%
一般機械器具製造業	23	8	34.8%	1.2%
電気機械器具製造業	15	9	60.0%	1.4%
その他製造業	25	11	44.0%	1.7%
卸売業	224	113	50.4%	17.4%
食料品卸売業	44	18	40.9%	2.8%
繊維製品卸売業	22	11	50.0%	1.7%
建材・住宅機器卸売業	28	18	64.3%	2.8%
紙・文具卸売業	10	7	70.0%	1.1%
金属・鋼材卸売業	10	5	50.0%	0.8%
一般機械器具卸売業	35	13	37.1%	2.0%
石油・化学製品卸売業	15	9	60.0%	1.4%
その他卸売業	60	32	53.3%	4.9%
小売業	222	73	32.9%	11.3%
食料品小売業	53	13	24.5%	2.0%
衣料品・身の回り品卸売業	34	13	38.2%	2.0%
石油・化学製品小売業	5	1	20.0%	0.2%
車両運搬具小売業	16	5	31.3%	0.8%
家電・厨房器具小売業	15	5	33.3%	0.8%
百貨店・セルフ店	10	5	50.0%	0.8%
その他小売業	89	31	34.8%	4.8%
運輸・倉庫業	70	27	38.6%	4.2%
旅客運送業	20	10	50.0%	1.5%
貨物運送・倉庫業	50	17	34.0%	2.6%
サービス業	568	228	40.1%	35.2%
情報処理サービス業	70	37	52.9%	5.7%
その他事務所サービス業	331	133	40.2%	20.5%
ホテル・旅館・飲食業	111	32	28.8%	4.9%
その他の個人サービス業	56	26	46.4%	4.0%

「 福商・経営動向調査 」 調査結果

景況概況（DI 値の動き）

1. 自社業況は、今期▲25.4となり、前期との比較ではプラス13.9ポイントと3期ぶりの改善となった。
業種別に対前期比をみると、運輸・倉庫業がプラス49.4ポイント（前期DI値▲45.7）、卸売業プラス24.1ポイント（同▲45.4）、建設業プラス15.4ポイント（同▲38.4）、サービス業プラス11.3ポイント（同▲38.6）、製造業プラス6.9ポイント（同▲31.7）、小売業マイナス1.8ポイント（同▲40.6）と小売業を除く全ての業種で改善となった。
次四半期（H23年10～12月）の全業種予測DI値は▲20.8（今期比プラス4.6ポイント）となっており、改善することが予測されている。
2. 業界の景気動向は、今期▲46.1と前期との比較ではプラス7.9ポイントと3期ぶりの改善となった。
次四半期については▲33.8とプラス12.3ポイントの改善が予測されている。
3. 生産額、売上額、完成工事高は、今期▲19.2となり、前期との比較ではプラス12.2ポイントと3期ぶりの改善となった。
次四半期については▲17.7とプラス1.5ポイントの改善が予測されている。
4. 原材料、製（商）品仕入価格は、今期22.1と前期との比較ではマイナス5.7ポイントと4期ぶりの下落となった。
次四半期については21.4とマイナス0.7ポイントの下落予測となっている。
5. 受注価格、販売価格は、今期▲26.7と前期との比較ではプラス1.7ポイントと2期ぶりの改善となった。
次四半期については▲21.1とプラス5.6ポイントの改善が予測されている。
6. 営業利益は、今期▲31.0と前期との比較ではプラス9.3ポイントと2期ぶりの改善となった。
次四半期については▲30.2とプラス0.8ポイントの改善が予測されている。
7. 売上増加の理由は、「受注、需要の増加」58.1%、「得意先開拓・客数の増加」42.7%に集中している。
一方で減少した理由としては、「受注、需要の減少」が73.6%と突出し、「客単価の低下」47.9%、「得意先開拓・客数の減少」38.0%、「天候などの自然条件」21.1%の順となっている。
8. 当面の経営上の問題点としては、「受注、販売競争の激化」57.3%、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」56.5%、「営業利益の低下」43.1%の3項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ3項目に集中している。
他に指摘が集中した項目として、建設業では「官公需要の停滞」が全業種で17.6%に対し43.2%、「元請の減少」が全業種で6.9%に対し23.7%と突出し、非常に高水準となっているのが特徴である。

まとめ

今期の全業種合計の「自社状況 DI」（DI 値＝前年同期と比較し「良くなった」とする回答割合から「悪くなった」とする回答割合を引いた数値）は、▲25.4（前期比＋13.9 ポイント）と 3 期ぶりにマイナス幅が縮小した。

全体的には、厳しい状況にあるもの、サプライチェーン寸断に伴う部品・資材等の調達難、自粛ムードによる消費マインドの減退など、震災後に広く見られた影響も回復が進み、また自動車メーカーの減産分を取り戻すための増産、外航クルーズ船の博多港寄港の再開など、明るい動きもみられ、景況感は持ち直している。

円高に関して直接的な影響を受ける例は多くはないが、「円高を理由としたコストダウン要請」「大手企業の海外調達の割合の増加、海外への生産移管に伴う受注減」を指摘する声も聞かれる。

規模別にみると、調査対象の 9 割以上を占める中小企業は▲28.3（同＋11.9 ポイント）と改善。大企業も 8.0（同＋34.7 ポイント）と 2 期ぶりにプラスに転じ、大幅な改善となった。

業種別にみると、小売業が 2 期連続の悪化となったが、他の 5 業種はいずれも改善した。

全業種の中でも、運輸・倉庫業が最も改善幅が大きく、プラスに転じている。運輸・倉庫業や卸売業の改善は、サプライチェーンが復旧し、需要が震災前の水準に戻ってきていることが反映したものと見られる。

また倉庫関連では、震災の影響により保管料収入が増えたというコメントもあったが一方で、原油高騰の影響が会社の損益に大きな影響を与えかねないといった声も多くあった。

唯一悪化している小売業については、地デジ移行に伴う駆け込み需要や節電意識の高まりにより、テレビ、エアコン、LED 電球などの売上が伸びたものの、需要が一巡した 8 月以降はその反動から落ち込みが見られたほか、台風や残暑の影響で季節ものの動きが鈍いといった天候不順による影響も見られた。また、博多阪急の開業効果が続いていることから百貨店全体の売上は増えているものの、相次ぐ大型小売店の新規出店やリニューアルから更なる競争激化を指摘する声がある。

項目別にみると、全体的な持ち直しの動きを反映し、「生産額、売上額、完成工事高 DI」「営業利益 DI」は全業種とも改善となっている。

また、「100 万円以上の設備投資」に関し、「行った」とする企業の割合は僅かながら 3 期連続の増加となったが、依然として低水準で推

移している。中小企業を中心に長引く円高、原材料価格の高止まり、電力不足など、先行きに対する不安要因から引き続き慎重な姿勢が現れている。

次四半期の予測 DI 値は▲20.8（今期比＋4.6 ポイント）と今期に続き改善が予測されている。業種別では、卸売業を除く 5 業種で改善が予測されている。

サプライチェーンの復旧に伴って自動車などの生産活動の回復が進むこと、また震災の復興需要の発生が期待されていることを反映し、来期についても全体としては改善が予測されている。一方で、急激な円高、海外経済の動向、冬場における電力不足の懸念などの不安要素を抱えており、また消費を取り巻く環境に影響する雇用・賃金の回復も限定的なものに留まるとも見られ、今後の動向に注視しなければならない。

《 回答企業の主なコメントより(抜粋) 》

- ・ 震災の影響による部品・商品不足は解消したが、工事受注金額の大幅な減少が続き、営業利益の確保が困難なっている。(建設業)
- ・ 原材料価格が上がり製造原価が増加している一方、販売価格へ転嫁できず、利益が減少している。(製造業)
- ・ 東南アジアエリアにリンクしている国の受注が減ってきている。円建てで決済している為、相手国に到着したときには単価格が非常に高くなってしまっている。(卸売業)
- ・ 博多阪急・JR 博多シティーの開業、バーニーズ・ニューヨークなどファストファッションの進出、キャナルシティ博多の増床などの影響を受け、競争が更に激化する。(小売業)
- ・ 震災の影響による自粛傾向は解消され、販売量は増加傾向にあるが、利益減少は続いている。(サービス業)

1. 自社・業界の景況

《3期ぶりに改善、次期予測も改善へ》

今四半期（H23年7～9月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は20.7%（前期比+5.6ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は46.1%（前期比+8.3ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は32.9%（前期比+2.6ポイント）となった。
DI値は▲25.4（前期DI値▲39.3）となり、前期比で+13.9ポイントと改善した。

業種別に対前期比でDI値を見ると、今回の調査で運輸・倉庫業が+49.4ポイント（前期DI値▲45.7）、卸売業+24.1ポイント（同▲45.4）、建設業+15.4ポイント（同▲38.4）、サービス業+11.3ポイント（同38.6）、製造業+6.9ポイント（同▲31.7）、小売業-1.8ポイント（同▲40.6）と小売業を除く全ての業種で改善となった。

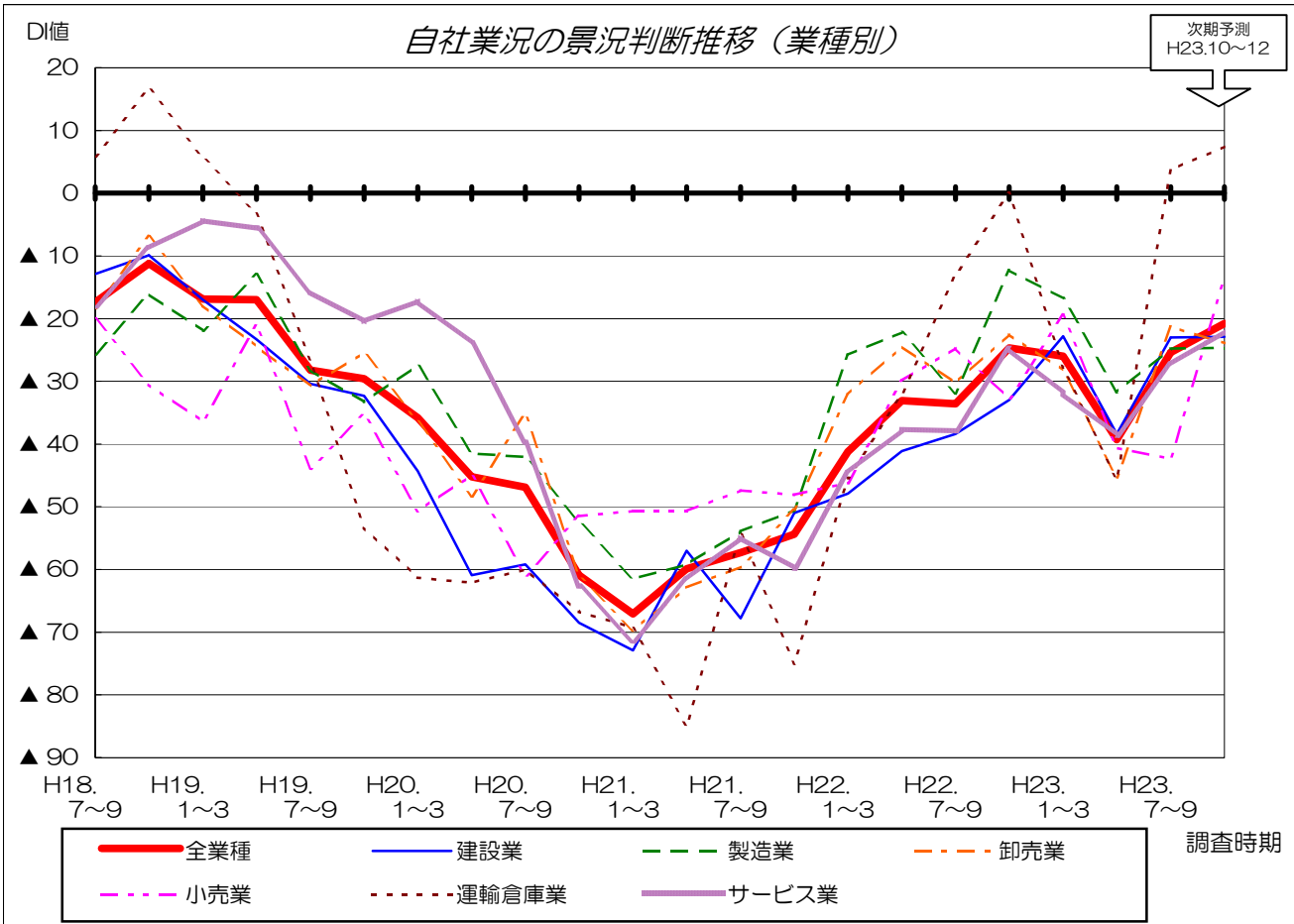
また、規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+11.9ポイント（前期DI値▲40.2）、大企業は+34.7ポイント（同▲26.7）と改善した。

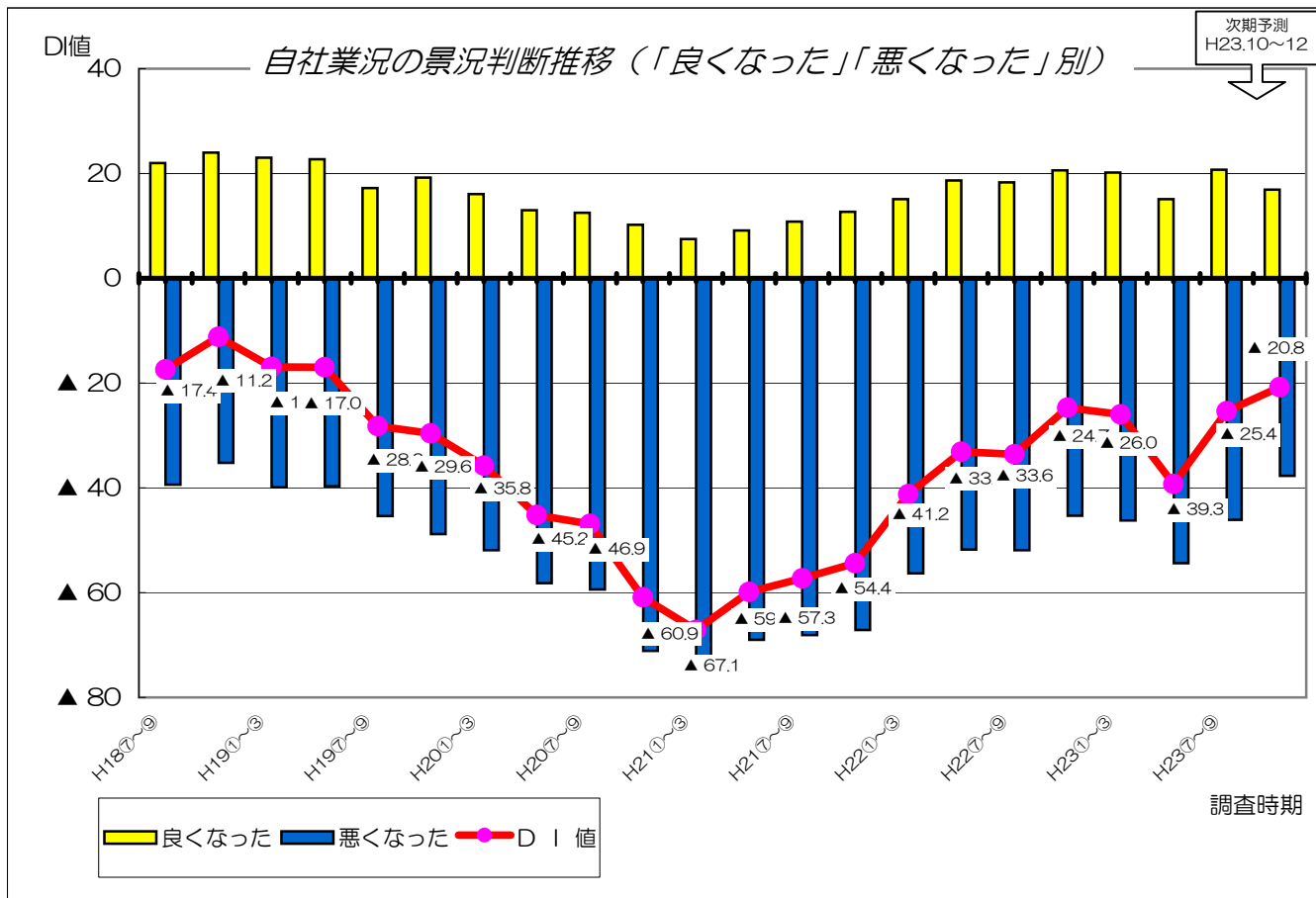
次四半期（H23年10～12月）の全業種予測DI値は▲20.8（今期比+4.6ポイント）となっており、改善が見込まれている。

《 自社業況の総合判断(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(23年7～9月期)実績							次四半期(23年10～12月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	1.7	19.0	32.9	35.3	10.8	0.3	▲25.4	0.9	16.0	42.4	30.1	7.6	2.9	▲20.8
建設業	0.8	21.2	33.1	33.1	11.9	0.0	▲23.0	0.0	16.1	41.5	30.5	8.5	3.4	▲22.9
製造業	1.1	23.6	25.8	46.1	3.4	0.0	▲24.8	0.0	18.0	37.1	33.7	9.0	2.2	▲24.7
卸売業	3.5	17.7	36.3	31.0	11.5	0.0	▲21.3	0.9	14.2	43.4	31.9	7.1	2.7	▲23.9
小売業	1.4	16.4	20.5	43.8	16.4	1.4	▲42.4	1.4	19.2	41.1	30.1	4.1	4.1	▲13.6
運輸・倉庫業	3.7	29.6	37.0	29.6	0.0	0.0	3.7	3.7	25.9	48.1	22.2	0.0	0.0	7.4
サービス業	1.3	16.2	37.3	32.5	12.3	0.4	▲27.3	1.3	14.0	44.3	28.5	8.8	3.1	▲22.0
中小企業	1.3	18.2	32.4	36.3	11.5	0.2	▲28.3	0.8	15.1	41.8	31.3	8.0	3.0	▲23.4
大企業	6.0	28.0	38.0	24.0	2.0	2.0	8.0	2.0	28.0	50.0	16.0	2.0	2.0	12.0





業界の景況

《業界景況は3期ぶりに改善、次期予測も改善へ》

地場企業から見た自社の属する業界の景況判断指数(DI値)は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合が8.3%、「悪くなった」と回答した企業割合が54.4%、「横ばい」と回答した企業割合が35.3%となっており、DI値は▲46.1(前期DI値▲54.0)と前期比で+7.9ポイントの改善となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業が+44.3ポイント(前期DI値▲62.8)、卸売業+9.3ポイント(同▲58.8)、建設業+9.0ポイント(同▲54.7)、サービス業+5.2ポイント(同▲49.5)、小売業+4.7ポイント(同▲60.9)、製造業+4.5ポイント(同▲50.5)と全業種で改善となった。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+5.9ポイント(前期DI値▲54.8)、大企業は+32.2ポイント(同▲42.2)と改善した。

次四半期予測DI値は▲33.8となっており、今期比+12.3ポイントと改善が予測されている。

《業界の景気動向(前年同期と比較して)》

(単位 %)

	今四半期(23年7~9月期)実績							次四半期(23年10~12月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	0.3	8.0	35.3	41.4	13.0	2.0	▲46.1	0.6	9.4	41.8	34.4	9.4	4.3	▲33.8
建設業	0.0	11.9	28.8	46.6	11.0	1.7	▲45.7	0.0	13.6	36.4	37.3	9.3	3.4	▲33.0
製造業	0.0	7.9	36.0	47.2	6.7	2.2	▲46.0	0.0	7.9	38.2	40.4	9.0	4.5	▲41.5
卸売業	0.0	7.1	36.3	41.6	15.0	0.0	▲49.5	0.9	8.0	44.2	34.5	9.7	2.7	▲35.3
小売業	0.0	6.8	27.4	47.9	15.1	2.7	▲56.2	0.0	6.8	45.2	35.6	6.8	5.5	▲35.6
運輸・倉庫業	3.7	18.5	33.3	40.7	0.0	3.7	▲18.5	3.7	18.5	48.1	25.9	0.0	3.7	▲3.7
サービス業	0.4	5.7	40.8	34.2	16.2	2.6	▲44.3	0.9	8.3	43.0	31.1	11.4	5.3	▲33.3
中小企業	0.2	7.4	33.9	42.8	13.7	2.0	▲48.9	0.5	8.0	41.0	35.8	10.2	4.5	▲37.5
大企業	2.0	16.0	52.0	24.0	4.0	2.0	▲10.0	2.0	26.0	52.0	18.0	0.0	2.0	10.0

2. 生産額、売上額、完成工事高

《3期ぶりに改善、次期予測も改善へ》

生産額、売上額、完成工事高は、全業種平均で「増えた」と回答した企業割合は18.1%、「減った」と回答した企業割合は37.3%となっており、DI値は▲19.2（前期DI値▲31.4）と前期比+12.2ポイントの改善となった。

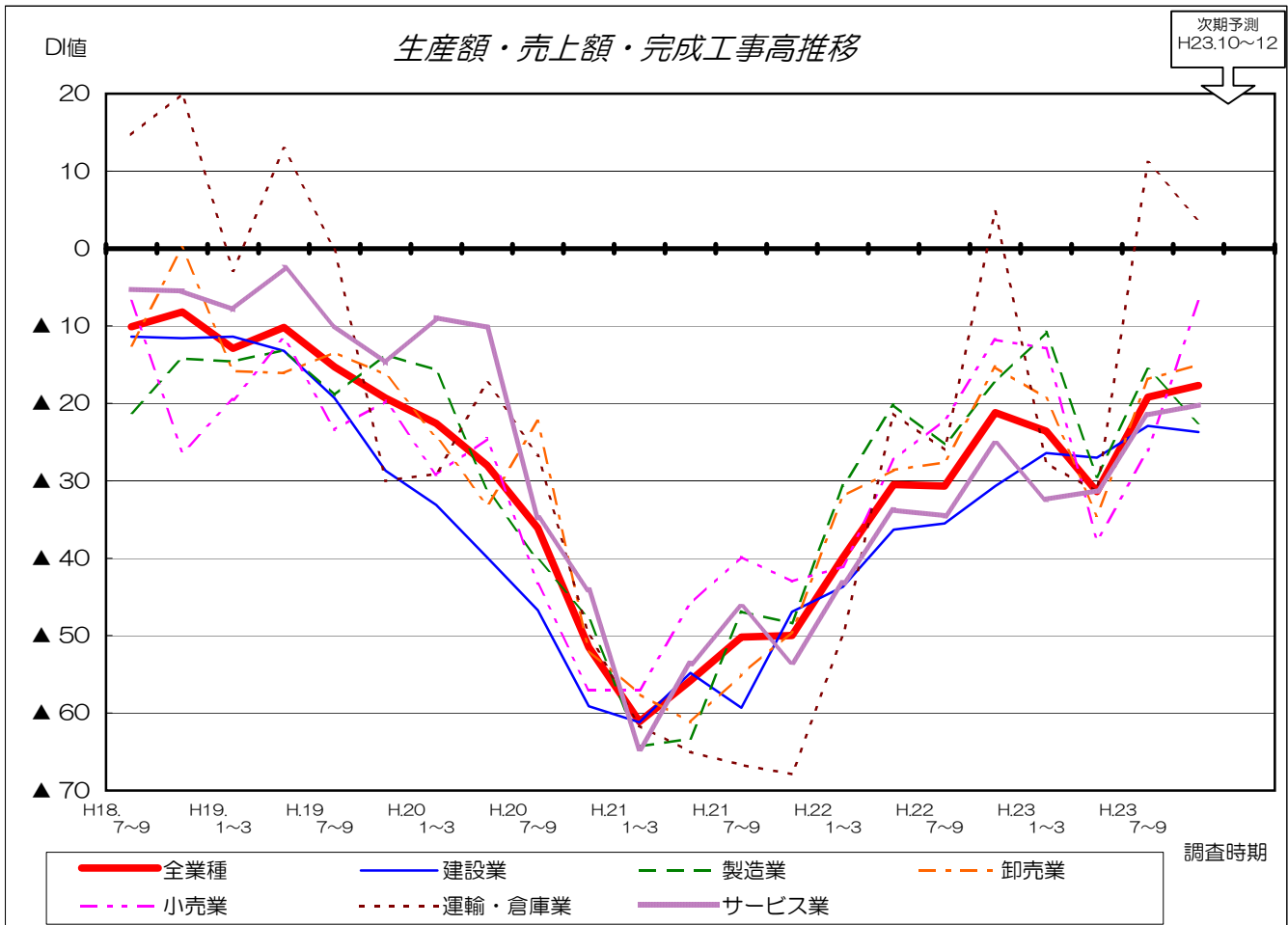
業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業が+42.5ポイント、卸売業+17.6ポイント、製造業+13.9ポイント、小売業+11.6ポイント、サービス業+9.8ポイント、建設業+4.1ポイントと全ての業種で改善した。

売上が増加した理由としては、「受注、需要の増加」58.1%、「得意先開拓・客数の増加」42.7%に集中している。減少した理由としては、「受注、需要の減少」が73.6%と突出し、「客単価の低下」47.9%、「得意先開拓・客数の減少」38.0%、「天候などの自然条件」21.1%の順となっている。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+9.7ポイント（前期DI値▲31.7）、大企業は前期比+40.7ポイント（同▲26.7）と改善した。

（単位 %）

	今四半期(23年7～9月期)実績							次四半期(23年10～12月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全業種	4.2	13.9	40.3	27.6	9.7	4.3	▲19.2	2.2	11.7	48.3	23.3	8.3	6.2	▲17.7
建設業	5.1	11.9	39.8	31.4	8.5	3.4	▲22.9	-	13.6	45.8	28.8	8.5	3.4	▲23.7
製造業	3.4	16.9	42.7	30.3	5.6	1.1	▲15.6	1.1	10.1	51.7	24.7	9.0	3.4	▲22.5
卸売業	3.5	16.8	37.2	30.1	7.1	5.3	▲16.9	2.7	9.7	53.1	21.2	6.2	7.1	▲15.0
小売業	2.7	15.1	31.5	28.8	15.1	6.8	▲26.1	4.1	15.1	46.6	19.2	6.8	8.2	▲6.8
運輸・倉庫業	3.7	29.6	33.3	22.2	0.0	11.1	11.1	3.7	22.2	40.7	22.2	0.0	11.1	3.7
サービス業	4.8	10.1	44.7	23.7	12.7	3.9	▲21.5	2.6	10.1	47.4	22.4	10.5	7.0	▲20.2
中小企業	4.0	12.9	40.0	28.9	10.0	4.2	▲22.0	2.3	10.7	48.0	24.1	8.7	6.2	▲19.8
大企業	6.0	26.0	44.0	12.0	6.0	6.0	14.0	-	24.0	52.0	14.0	4.0	6.0	6.0



参考資料：（ 2. 生産額、売上額、完成工事高 ）

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より増加した主な理由（複数回答可）（単位 %）

増加理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	天候などの自然条件	増加又は減少	情道の路、変化	ズは製（商）の変費者ニ品	金格出改の荷定上・販下、売料価	促売進出等の販売	へ開新製（商）の進出、新商分野品	業業大手の参入、他	客得数の先増減拓	又は単価の下上昇	品取量の増減（商）
全業種	12.8	58.1	3.4	5.1	17.1	9.4	8.5	3.4	42.7	5.1	6.8
建設業	15.0	70.0	5.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	45.0	0.0	5.0
製造業	11.1	77.8	0.0	11.1	27.8	5.6	11.1	5.6	38.9	5.6	0.0
卸売業	8.7	65.2	0.0	0.0	26.1	17.4	8.7	4.3	43.5	8.7	13.0
小売業	23.1	23.1	7.7	15.4	23.1	23.1	7.7	7.7	38.5	15.4	7.7
運輸・倉庫業	33.3	44.4	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1
サービス業	5.9	52.9	0.0	5.9	8.8	8.8	14.7	2.9	50.0	2.9	5.9
中小企業	11.9	57.4	2.0	4.0	15.8	9.9	7.9	4.0	40.6	3.0	6.9
大企業	18.8	62.5	12.5	12.5	25.0	6.3	12.5	0.0	56.3	18.8	6.3

増加理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品の取扱、ダウンの質（商向）	採算部門の縮小	変移工場、立地舗の増減	約支店の開設、特	力老設の低化、店競争の	又両機は導廃入、備買・替車	員営の増、減、外商社	手技の増者、減、運転	又駐は車場の閉鎖の増設	その他	無回答
全業種	2.6	2.6	0.9	4.3	0.9	2.6	7.7	1.7	0.9	8.5	1.7
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0
製造業	5.6	5.6	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0
卸売業	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	8.7	4.3
小売業	0.0	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
サービス業	2.9	2.9	0.0	2.9	2.9	2.9	11.8	5.9	2.9	11.8	2.9
中小企業	3.0	3.0	0.0	5.0	1.0	3.0	7.9	2.0	1.0	8.9	2.0
大企業	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より減少した主な理由（複数回答可）（単位 %）

減少理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	天候などの自然条件	増加又は減少	情道の路、変化	ズは製（商）の変費者ニ品	金格出改の荷定上・販下、売料価	促売進出等の販売	へ開新製（商）の進出、新商分野品	業業大手の参入、他	客得数の先増減拓	又は単価の下上昇	品取量の増減（商）
全業種	21.1	73.6	3.3	16.9	17.4	0.8	1.7	18.2	38.0	47.9	5.0
建設業	4.3	95.7	0.0	4.3	8.5	0.0	2.1	12.8	27.7	51.1	2.1
製造業	15.6	84.4	0.0	28.1	28.1	0.0	6.3	12.5	25.0	28.1	6.3
卸売業	28.6	71.4	4.8	19.0	23.8	4.8	0.0	14.3	33.3	42.9	9.5
小売業	50.0	43.8	6.3	21.9	25.0	0.0	3.1	31.3	46.9	46.9	6.3
運輸・倉庫業	50.0	83.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	66.7	0.0
サービス業	15.7	68.7	1.2	18.1	13.3	0.0	0.0	20.5	47.0	55.4	3.6
中小企業	19.7	74.7	3.4	16.7	17.6	0.4	1.7	17.6	37.8	48.9	4.3
大企業	55.6	44.4	0.0	22.2	11.1	11.1	0.0	33.3	44.4	22.2	22.2

減少理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品の取扱、ダウンの質（商向）	採算部門の縮小	変移工場、立地舗の増減	約支店の開設、特	力老設の低化、店競争の	又両機は導廃入、備買・替車	員営の増、減、外商社	手技の増者、減、運転	又駐は車場の閉鎖の増設	その他	無回答
全業種	1.2	1.7	1.2	1.7	5.4	0.4	4.5	4.5	0.0	8.3	2.5
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	2.1	0.0	2.1	2.1
製造業	6.3	0.0	3.1	0.0	6.3	3.1	9.4	3.1	0.0	3.1	0.0
卸売業	0.0	9.5	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	7.1
小売業	3.1	0.0	3.1	0.0	6.3	0.0	6.3	3.1	0.0	21.9	0.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0
サービス業	0.0	0.0	1.2	4.8	8.4	0.0	3.6	7.2	0.0	7.2	2.4
中小企業	1.3	1.7	1.3	1.7	5.6	0.4	4.7	4.7	0.0	7.3	2.6
大企業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

3. 原材料、製（商）品仕入価格

《4期ぶりの下落、次期予測はさらに下落へ》

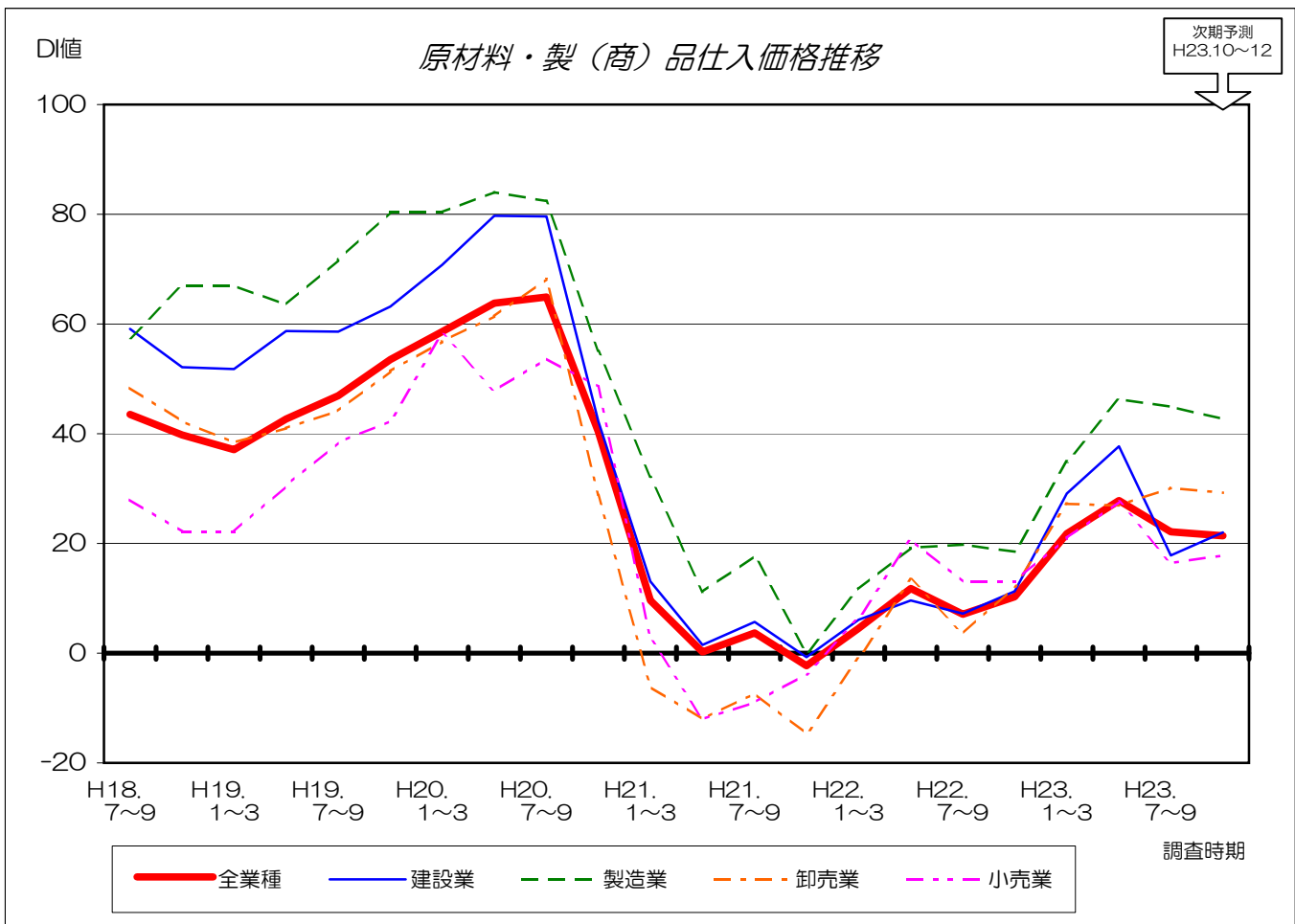
原材料、製（商）品仕入価格は「上昇」と回答した企業割合は25.8%、「下落」と回答した企業割合は3.7%となっており、DI値は22.1（前期DI値27.8）と前期比-5.7ポイントの「下落」となっている。

業種別に対前期比でDI値を見ると、卸売業が+3.2ポイントと増加したものの、建設業-19.9ポイント、小売業-11.2ポイント、運輸・倉庫業-8.3ポイント、サービス業-2.6ポイント、製造業-1.4ポイントと減少となっている。

また、次四半期予測DI値については21.4となっており、今期比で-0.7ポイントの「下落」予測となっている。

《 原材料、製品仕入価格(前年同期と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(23年7~9月期)実績					次四半期(23年10~12月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	25.8	57.3	3.7	13.3	22.1	24.2	55.4	2.8	17.6	21.4
建設業	20.3	73.7	2.5	3.4	17.8	22.0	72.0	0.0	5.9	22.0
製造業	44.9	53.9	0.0	1.1	44.9	44.9	48.3	2.2	4.5	42.7
卸売業	38.1	50.4	8.0	3.5	30.1	33.6	56.6	4.4	5.3	29.2
小売業	21.9	71.2	5.5	1.4	16.4	21.9	60.3	4.1	13.7	17.8
運輸・倉庫業	29.6	25.9	3.7	40.7	25.9	22.2	25.9	3.7	48.1	18.5
サービス業	15.8	52.6	3.1	28.5	12.7	13.6	50.9	3.1	32.5	10.5
中小企業	26.3	56.0	4.0	13.7	22.3	24.9	54.0	3.0	18.1	21.9
大企業	20.0	72.0	0.0	8.0	20.0	16.0	72.0	0.0	12.0	16.0



4. 受注価格、販売価格

《2期ぶりに改善、次期予測はさらに改善へ》

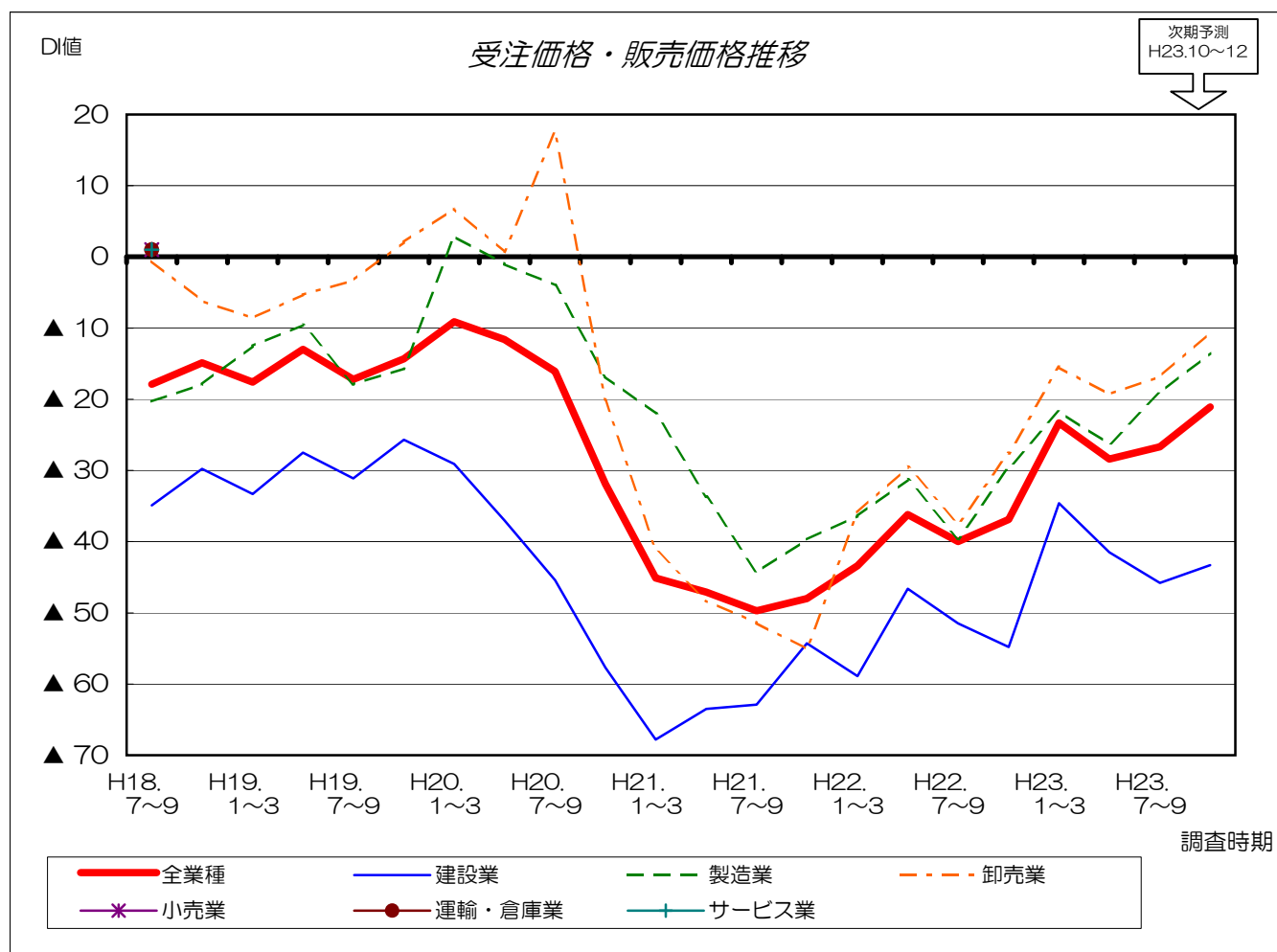
受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業割合は4.5%、「下落」と回答した企業割合は31.2%となっており、DI値は▲26.7（前期DI値▲28.4）と前期比+1.7ポイントの改善となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業+12.6ポイント、製造業+7.2ポイント、卸売業+2.5ポイント、サービス業+2.2ポイントと改善したものの、小売業-5.0ポイント、建設業-4.3ポイントの悪化となった。

次四半期予測DI値については▲21.1となっており、今期比で+5.6ポイントの改善予測となっている。

《 受注価格、販売価格(前年同月と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(23年7~9月期)実績					次四半期(23年10~12月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	4.5	60.8	31.2	3.5	▲26.7	5.6	59.1	26.7	8.6	▲21.1
建設業	2.5	48.3	48.3	0.8	▲45.8	2.5	47.5	45.8	4.2	▲43.3
製造業	4.5	71.9	23.6	0.0	▲19.1	5.6	70.8	19.1	4.5	▲13.5
卸売業	9.7	62.8	26.5	0.9	▲16.8	11.5	62.8	22.1	3.5	▲10.6
小売業	8.2	64.4	23.3	4.1	▲15.1	13.7	56.2	16.4	13.7	▲2.7
運輸・倉庫業	7.4	70.4	14.8	7.4	▲7.4	3.7	63.0	14.8	18.5	▲11.1
サービス業	1.3	59.6	32.0	7.0	▲30.7	1.8	59.2	26.8	12.3	▲25.0
中小企業	3.3	59.5	33.4	3.7	▲30.1	4.5	58.5	28.3	8.7	▲23.8
大企業	18.0	76.0	4.0	2.0	14.0	18.0	66.0	8.0	8.0	10.0



5. 製（商）品在庫

《7期ぶりの悪化、次期予測は改善へ》

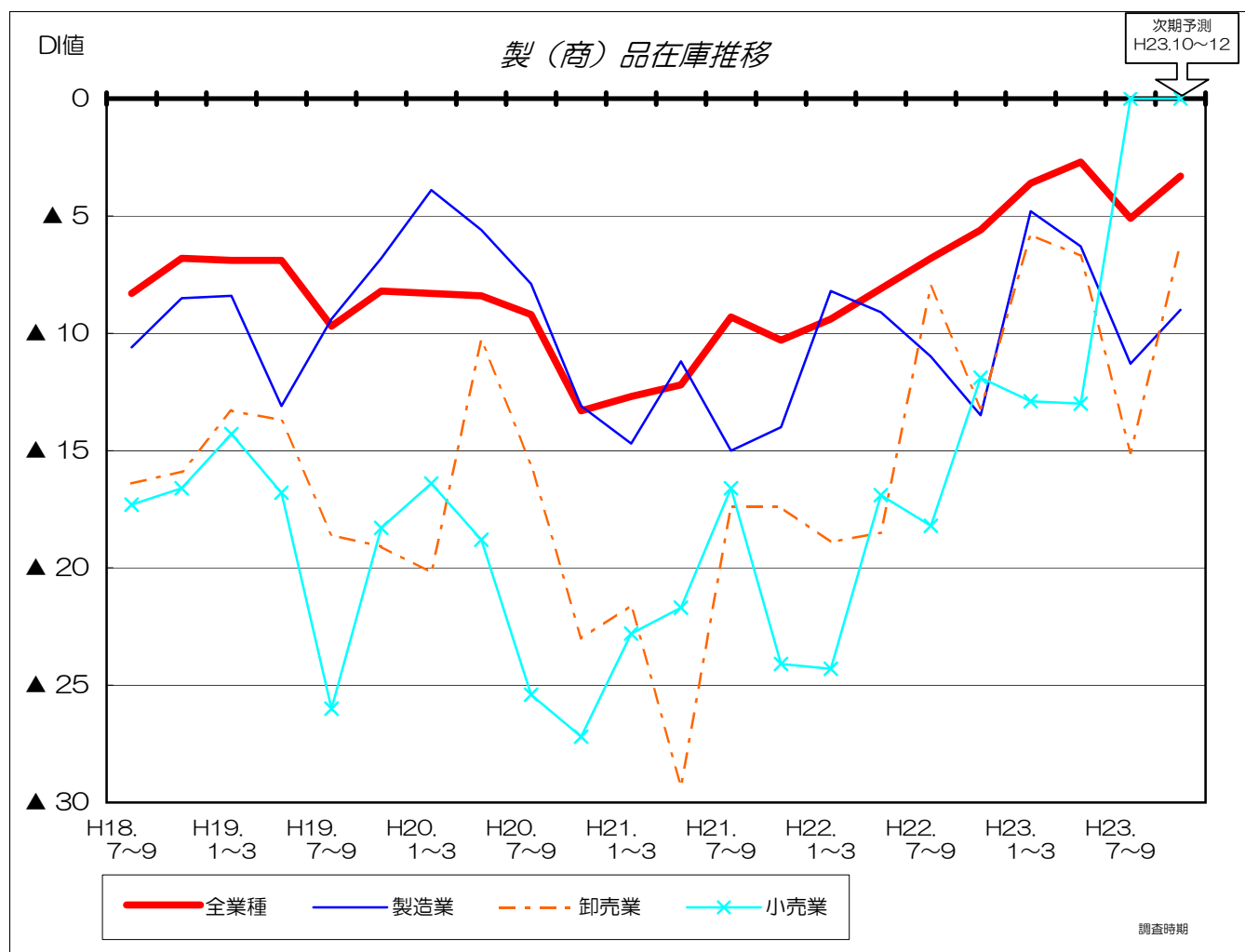
製（商）品在庫は、「適正」と回答した企業割合は63.0%、「不足」と回答した企業割合は3.9%、「過剰」と回答した企業割合は9.0%となっており、DI値は▲5.1（前期DI値▲2.7）と前期比-2.4ポイントの悪化となった。

次四半期予測DI値については▲3.3となっており、今期比で+1.8ポイントの改善が予測されている。

《製（商）品在庫（貴社の適正水準と比較して）》

（単位 %）

	今四半期(23年7~9月期)実績					次四半期(23年10~12月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	3.9	63.0	9.0	24.2	▲5.1	3.5	61.7	6.8	27.9	▲3.3
建設業	2.5	59.3	1.7	36.4	0.8	2.5	59.3	0.8	37.3	1.7
製造業	2.2	80.9	13.5	3.4	▲11.3	1.1	82.0	10.1	6.7	▲9.0
卸売業	5.3	71.7	20.4	2.7	▲15.1	6.2	76.1	12.4	5.3	▲6.2
小売業	8.2	78.1	8.2	5.5	0.0	6.8	71.2	6.8	15.1	0.0
運輸・倉庫業	0.0	37.0	0.0	63.0	0.0	0.0	29.6	7.4	63.0	▲7.4
サービス業	3.5	51.8	6.6	38.2	▲3.1	3.1	48.7	5.7	42.5	▲2.6
中小企業	3.5	62.2	9.2	25.1	▲5.7	3.2	60.7	7.2	28.9	▲4.0
大企業	8.0	72.0	6.0	14.0	2.0	8.0	74.0	2.0	16.0	6.0



6. 営業利益

《2期ぶりに改善、次期予測はさらに改善へ》

営業利益は、「増加」と回答した企業割合は13.9%、「減少」と回答した企業割合は44.9%、「横ばい」と回答した企業割合は39.7%となり、DI値は▲31.0（前期DI値▲40.3）と前期比+9.3ポイントの改善となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業が+24.3ポイント（前期DI値▲42.8）、卸売業+20.8ポイント（同▲40.3）、サービス業+9.3ポイント（同▲38.2）、製造業+5.2ポイント（同▲40.0）、建設業+2.3ポイント（同▲44.6）、小売業+2.2ポイント（同▲39.2）の改善となった。

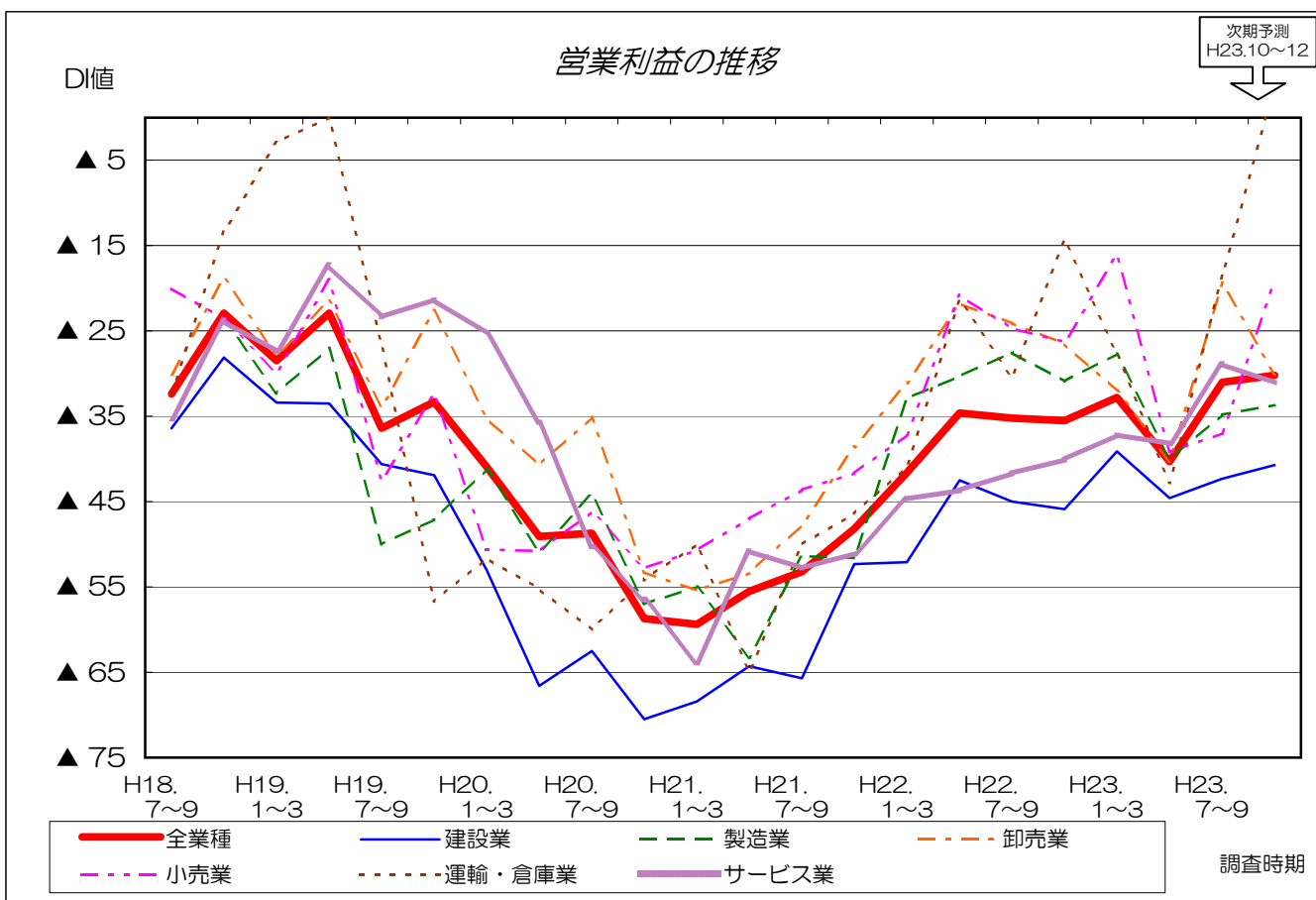
規模別のDI値を見ると、中小企業では前期比+7.4ポイント（前期DI値▲40.8）、大企業は前期比+31.4ポイント（同▲33.4）とともに改善した。

次四半期予測DI値については▲30.2となっており、今期比で+0.8ポイントの改善が予測されている。

《 営業利益（前年同期と比較して） 》

（ 単位 % ）

	今四半期(23年7~9月期)実績					次四半期(23年10~12月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	13.9	39.7	44.9	1.5	▲31.0	9.0	45.5	39.2	6.3	▲30.2
建設業	8.5	39.0	50.8	1.7	▲42.3	5.1	45.8	45.8	3.4	▲40.7
製造業	12.4	38.2	47.2	2.2	▲34.8	10.1	41.6	43.8	4.5	▲33.7
卸売業	16.8	46.0	36.3	0.9	▲19.5	8.0	50.4	38.1	3.5	▲30.1
小売業	12.3	38.4	49.3	0.0	▲37.0	9.6	50.7	28.8	11.0	▲19.2
運輸・倉庫業	22.2	33.3	40.7	3.7	▲18.5	25.9	37.0	22.2	14.8	▲3.7
サービス業	15.4	38.6	44.3	1.8	▲28.9	8.8	43.9	39.9	7.5	▲31.1
中小企業	12.9	39.5	46.3	1.3	▲33.4	7.9	44.8	41.0	6.4	▲33.1
大企業	26.0	42.0	28.0	4.0	▲2.0	22.0	54.0	18.0	6.0	▲4.0



7. 売掛期間

《3期ぶりの悪化、次期予測は反転改善へ》

売掛期間は、「短縮化」と回答した企業割合は1.2%、「長期化」と回答した企業割合は9.9%、「不変」と回答した企業割合は85.5%となっており、D I 値は▲8.7（前期D I 値▲6.0）と前期比-2.7ポイントの悪化となった。

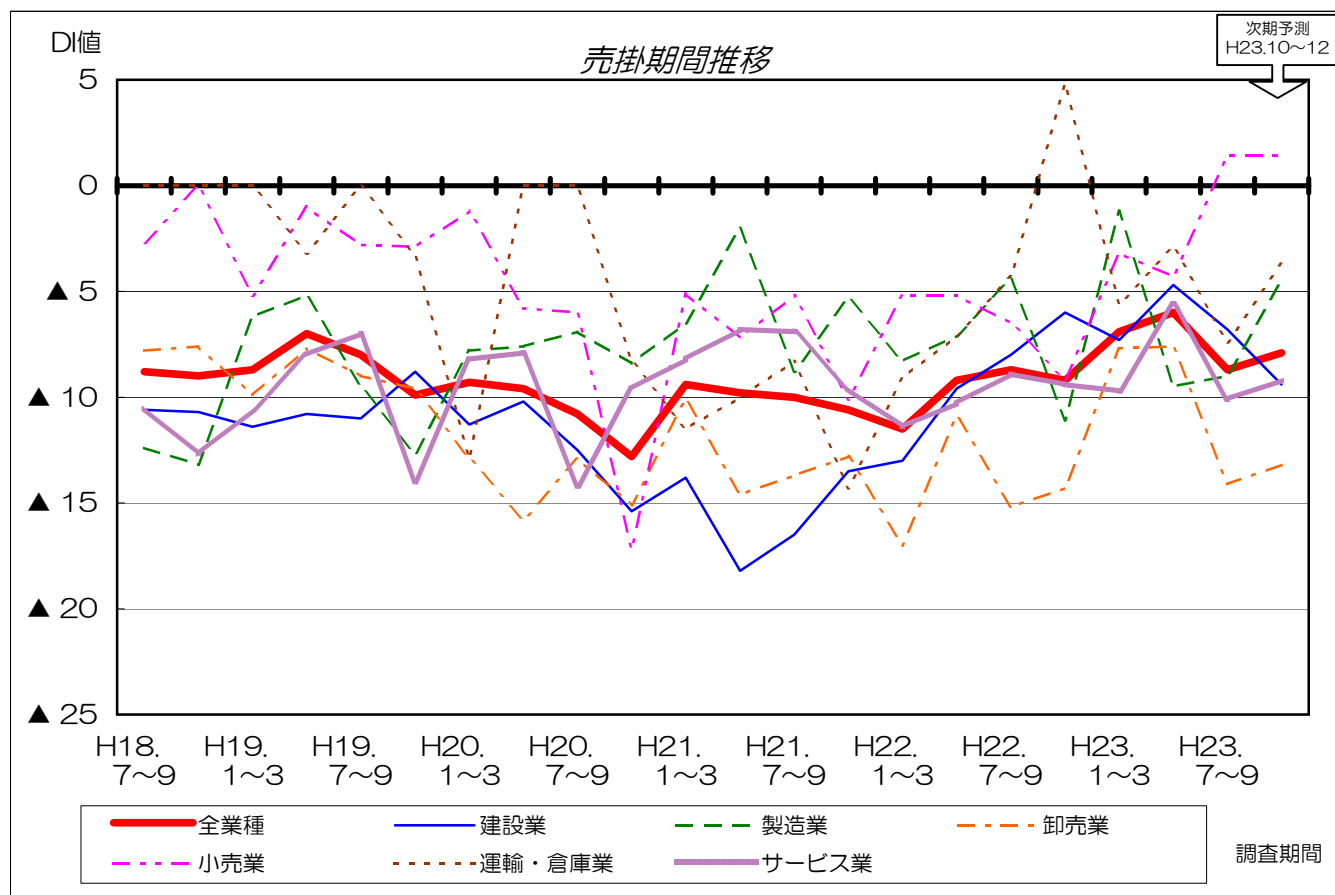
規模別のD I 値を見ると、中小企業は前期比-3.2ポイント（前期D I 値▲6.5）と悪化したものの、大企業では前期比+4.0ポイント（同0.0）と改善した。

次四半期予測D I 値については▲7.9となっており、今期比で+0.8ポイントの改善が予測されている。

《 売掛期間(前年同期と比較して)》

(単位 %)

	今四半期(23年7~9月期)実績					次四半期(23年10~12月期)予測				
	短縮化	不変	長期化	未記入	D I 値	短縮化	不変	長期化	未記入	D I 値
全業種	1.2	85.5	9.9	3.4	▲8.7	1.2	81.2	9.1	8.5	▲7.9
建設業	0.8	90.7	7.6	0.8	▲6.8	0.8	85.6	10.2	3.4	▲9.4
製造業	2.2	85.4	11.2	1.1	▲9.0	1.1	88.8	5.6	4.5	▲4.5
卸売業	0.9	84.1	15.0	0.0	▲14.1	1.8	80.5	15.0	2.7	▲13.2
小売業	4.1	89.0	2.7	4.1	▲1.4	5.5	75.3	4.1	15.1	▲1.4
運輸・倉庫業	-	92.6	7.4	0.0	▲7.4	0.0	81.5	3.7	14.8	▲3.7
サービス業	0.4	81.6	10.5	7.5	▲10.1	0.0	78.1	9.2	12.7	▲9.2
中小企業	1.0	85.1	10.7	3.2	▲9.7	1.0	80.9	9.7	8.4	▲8.7
大企業	4.0	90.0	0.0	6.0	▲4.0	4.0	84.0	2.0	10.0	▲2.0



8. 資金繰り

《3期連続の改善、次期予測は悪化へ》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は6.8%、「苦しい」と回答した企業は26.1%、「不変」と回答した企業は65.6%となっており、DI値は▲19.3（前期DI値▲20.9）と前期比+1.6ポイントの改善となった。

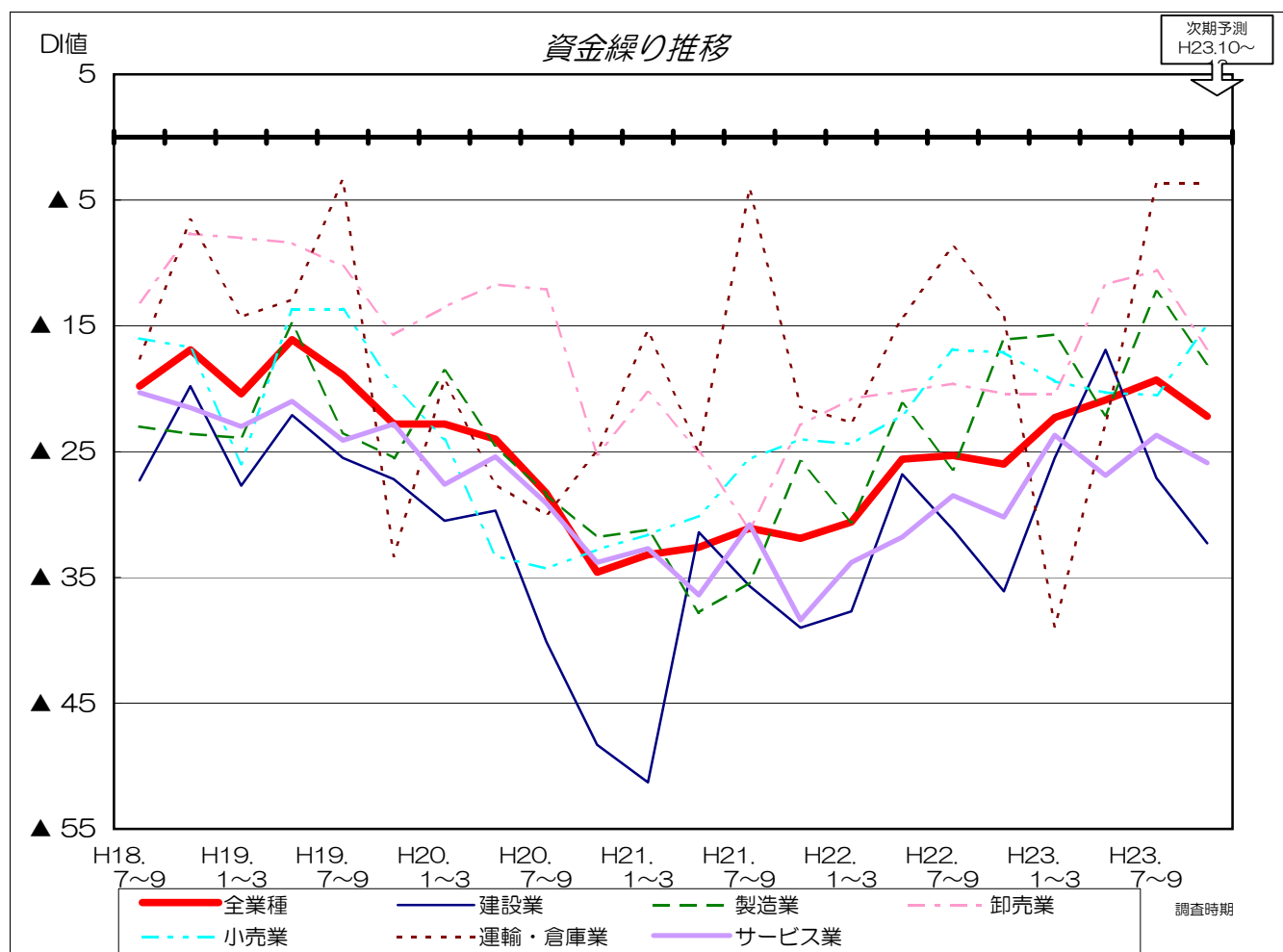
業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業が+19.1ポイント、製造業+9.8ポイント、サービス業+3.2ポイント、卸売業+1.1ポイントと改善したものの、建設業-10.2ポイント、小売業-0.2ポイントの悪化となった。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+0.6ポイント（前期DI値▲22.2）、大企業は前期比+10.2ポイント（前期DI値▲2.2）と改善した。

《 資金繰り(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(23年7~9月期)実績					次四半期(23年10~12月期)予測				
	楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	6.8	65.6	26.1	1.5	▲19.3	4.8	61.4	27.0	6.8	▲22.2
建設業	3.4	66.1	30.5	0.0	▲27.1	0.8	63.6	33.1	2.5	▲32.3
製造業	3.4	78.7	15.7	2.2	▲12.3	2.2	71.9	20.2	5.6	▲18.0
卸売業	7.1	75.2	17.7	0.0	▲10.6	5.3	69.9	22.1	2.7	▲16.8
小売業	13.7	47.9	34.2	4.1	▲20.5	11.0	49.3	26.0	13.7	▲15.0
運輸・倉庫業	11.1	70.4	14.8	3.7	▲3.7	11.1	59.3	14.8	14.8	▲3.7
サービス業	7.0	60.5	30.7	1.8	▲23.7	4.8	56.1	30.7	8.3	▲25.9
中小企業	6.5	64.0	28.1	1.3	▲21.6	4.8	59.5	28.9	6.7	▲24.1
大企業	10.0	84.0	2.0	4.0	8.0	4.0	84.0	4.0	8.0	0.0



9. 100万円以上の新規借入

100万円以上の新規借入を「行った」とする企業は39.7%（前期38.7%）と前期比で+1.0%の増加となった。一方で、「行ってない」とする企業は59.1%（前期60.1%）と前期比で-1.0%の減少となった。

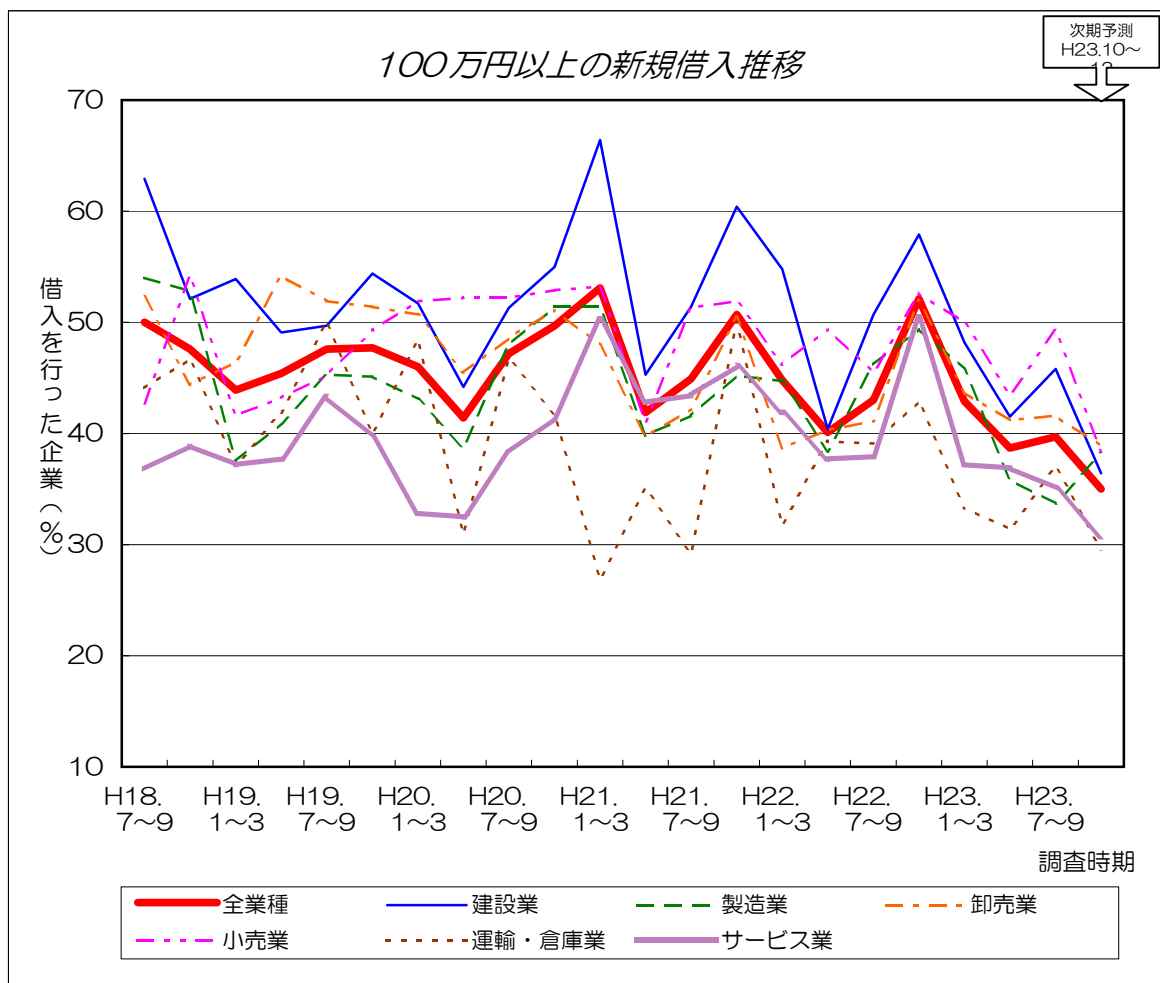
資金用途については、「運転」67.7%、「運転・設備」16.3%、「設備」6.2%という内訳になっている。

次四半期については、「行う予定」とする企業は35.0%、「行わない」とする企業は59.1%となっている。

《 100万円以上の新規借入 》

（単位 %）

	今四半期(23年7~9月期)実績			次四半期(23年10~12月期)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	39.7	59.1	1.2	35.0	59.1	5.9
建設業	45.8	53.4	0.8	36.4	60.2	3.4
製造業	33.7	62.9	3.4	38.2	56.2	5.6
卸売業	41.6	57.5	0.9	38.9	57.5	3.5
小売業	49.3	49.3	1.4	38.4	50.7	11.0
運輸・倉庫業	37.0	63.0	0.0	29.6	55.6	14.8
サービス業	35.1	64.0	0.9	30.7	63.6	5.7
中小企業	39.3	60.0	0.7	34.8	59.9	5.4
大企業	44.0	48.0	8.0	38.0	50.0	12.0



100万円以上の新規借入資金使途

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 新規借入の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 新規借入予定の資金使途(予測)			
	運転資金	運転設備	設備資金	無回答	運転資金	運転設備	設備資金	無回答
全業種	67.7	16.3	6.2	9.7	68.3	15.0	10.1	6.6
建設業	85.2	7.4	5.6	1.9	83.7	2.3	7.0	7.0
製造業	66.7	10.0	6.7	16.7	58.8	20.6	11.8	8.8
卸売業	74.5	10.6	2.1	12.8	70.5	18.2	6.8	4.5
小売業	61.1	22.2	8.3	8.3	53.6	21.4	21.4	3.6
運輸・倉庫業	80.0	10.0	10.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0
サービス業	53.8	26.3	7.5	12.5	67.1	17.1	7.1	8.6
中小企業	69.8	14.5	5.5	10.2	71.2	12.0	9.6	7.2
大企業	45.5	36.4	13.6	4.5	36.8	47.4	15.8	0.0

10. 100万円以上の設備投資

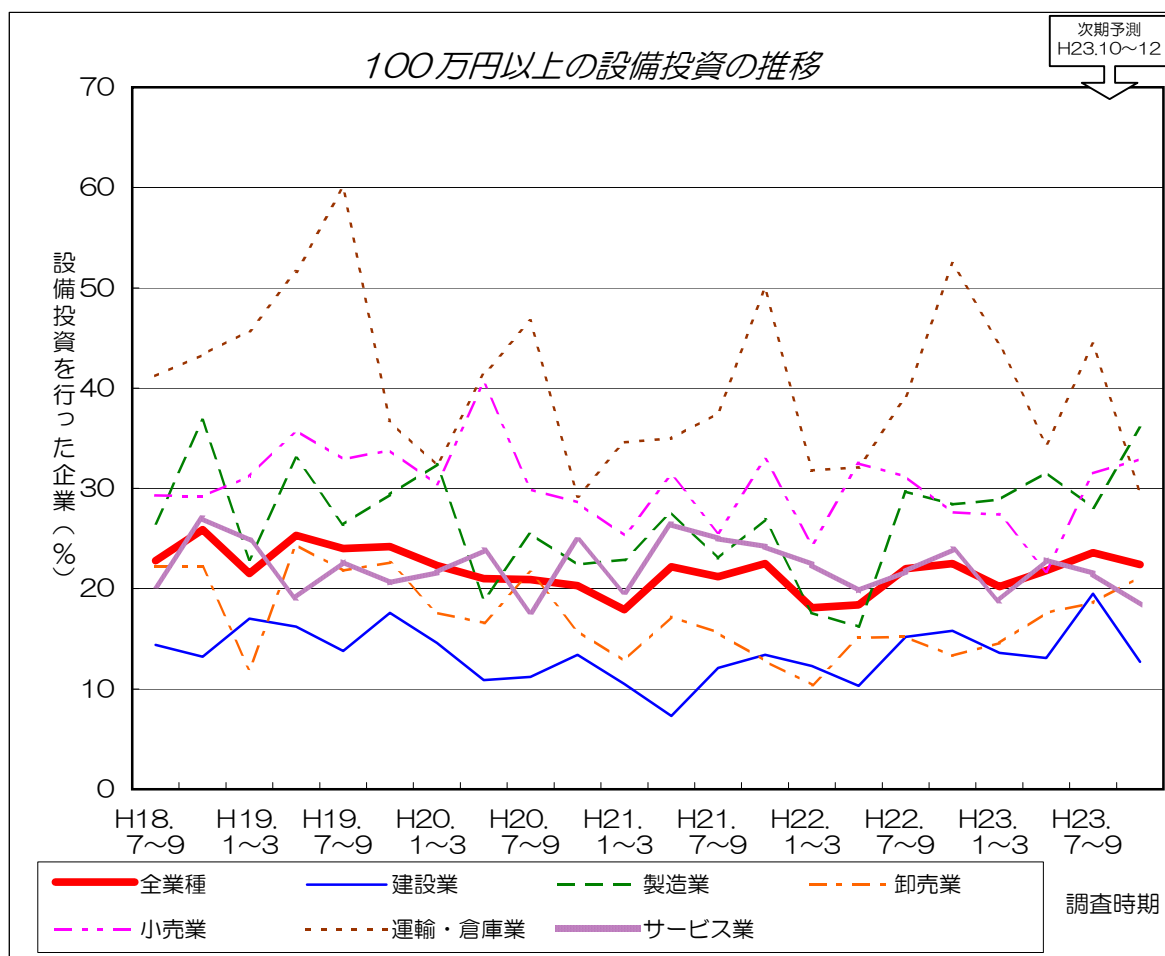
100万円以上の設備投資を「行った」とする企業は23.6%、「行ってない」とする企業は72.4%となっており、その投資内容については、「新規」20.3%、「新規・更新」34.0%、「更新」35.9%という内訳になった。

次期予測については、「行う予定」とする企業は22.4%、「行わない」とする企業は69.4%であり、その投資内容については、「新規」24.1%、「新規・更新」34.5%、「更新」37.2%となっている。

《 100万円以上の設備投資 》

(単位 %)

	今四半期(23年7~9月期)実績			次四半期(23年10~12月期)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	23.6	72.4	4.0	22.4	69.4	8.2
建設業	19.5	78.0	2.5	12.7	83.1	4.2
製造業	28.1	66.3	5.6	36.0	59.6	4.5
卸売業	18.6	78.8	2.7	21.2	72.6	6.2
小売業	31.5	64.4	4.1	32.9	53.4	13.7
運輸・倉庫業	44.4	55.6	0.0	29.6	55.6	14.8
サービス業	21.5	73.2	5.3	18.4	71.5	10.1
中小企業	20.4	75.6	4.0	19.9	71.9	8.2
大企業	62.0	34.0	4.0	52.0	40.0	8.0



100万円以上の設備投資

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 設備投資の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 設備投資計画の資金使途(予測)			
	新規	新規、更新	更新	無回答	新規	新規、更新	更新	無回答
全業種	20.3	34.0	35.9	9.8	24.1	34.5	37.2	4.1
建設業	21.7	26.1	39.1	13.0	20.0	40.0	40.0	0.0
製造業	20.0	36.0	32.0	12.0	21.9	37.5	31.3	9.4
卸売業	19.0	38.1	33.3	9.5	25.0	33.3	41.7	0.0
小売業	26.1	39.1	30.4	4.3	37.5	37.5	25.0	0.0
運輸・倉庫業	8.3	50.0	33.3	8.3	0.0	37.5	50.0	12.5
サービス業	20.4	28.6	40.8	10.2	23.8	28.6	42.9	4.8
中小企業	21.3	30.3	38.5	9.8	26.9	27.7	42.0	3.4
大企業	16.1	48.4	25.8	9.7	11.5	65.4	15.4	7.7

11. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点としては、「受注、販売競争の激化」57.3%、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」56.5%、「営業利益の低下」43.1%の3項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ3項目に集中している。

他に指摘が集中した項目として、建設業では「官公需要の停滞」が全業種で17.6%に対し43.2%、「元請の減少」が全業種で6.9%に対し23.7%と突出し、非常に高水準となっているのが特徴である。

《 当面の経営上の問題点(複数回答可) 》

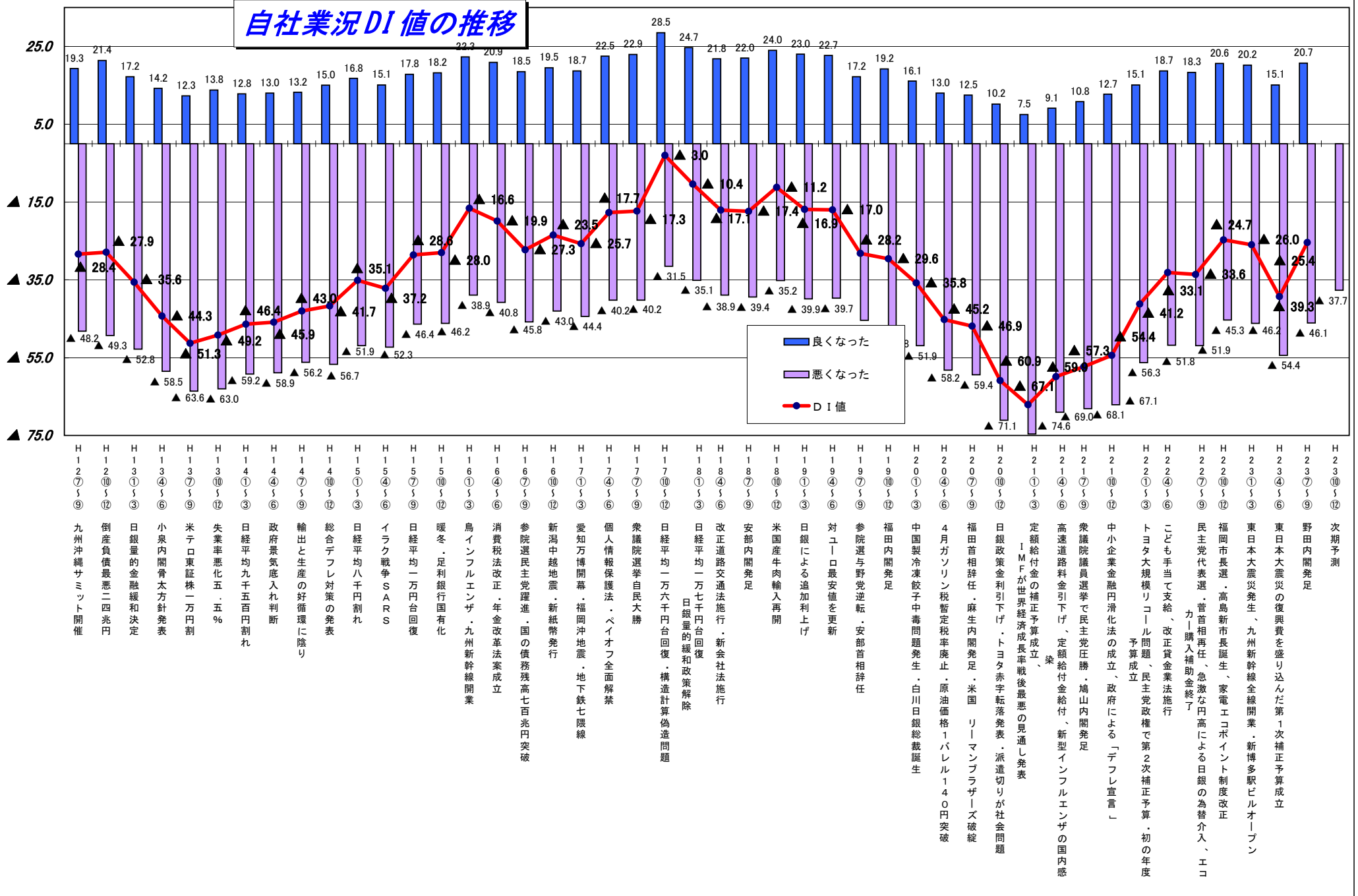
(単位 %)

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	の受注 激化、 販売競争	び額売 悩、上 み工額 事、生 高の産 伸	出店同 、業者 大型、 店の似 進	官公 需要の 停滞	輸 出不 振	元 請の 減少	低操 下業 率、 稼働 率	難原 材高 、入 手	の出 荷、 納品 価格	過 剰在 庫	嫁販 難売 価格 への 転	増難 加、 不代 良金 債の 権回 の収	化売 、掛 手金 の長 期
全業種	57.3	56.5	14.0	17.6	1.1	6.9	7.3	14.7	11.6	3.7	20.1	5.2	6.8
建設業	78.8	71.2	8.5	43.2	0.0	23.7	7.6	13.6	11.9	0.0	15.3	5.1	5.1
製造業	52.8	58.4	7.9	12.4	1.1	1.1	14.6	28.1	23.6	3.4	24.7	1.1	5.6
卸売業	62.8	48.7	9.7	15.0	3.5	1.8	1.8	18.6	14.2	9.7	37.2	14.2	12.4
小売業	52.1	47.9	28.8	6.8	1.4	1.4	1.4	15.1	5.5	8.2	17.8	5.5	5.5
運輸・倉庫業	29.6	44.4	11.1	7.4	3.7	3.7	22.2	22.2	7.4	3.7	14.8	3.7	3.7
サービス業	50.0	56.1	17.1	12.3	0.0	5.3	7.0	7.0	7.9	1.3	13.6	2.6	6.1
中小企業	55.9	56.5	13.7	17.4	1.2	7.2	7.4	14.7	11.0	3.8	20.4	5.4	7.2
大企業	74.0	56.0	18.0	20.0	0.0	4.0	6.0	14.0	18.0	2.0	16.0	4.0	2.0

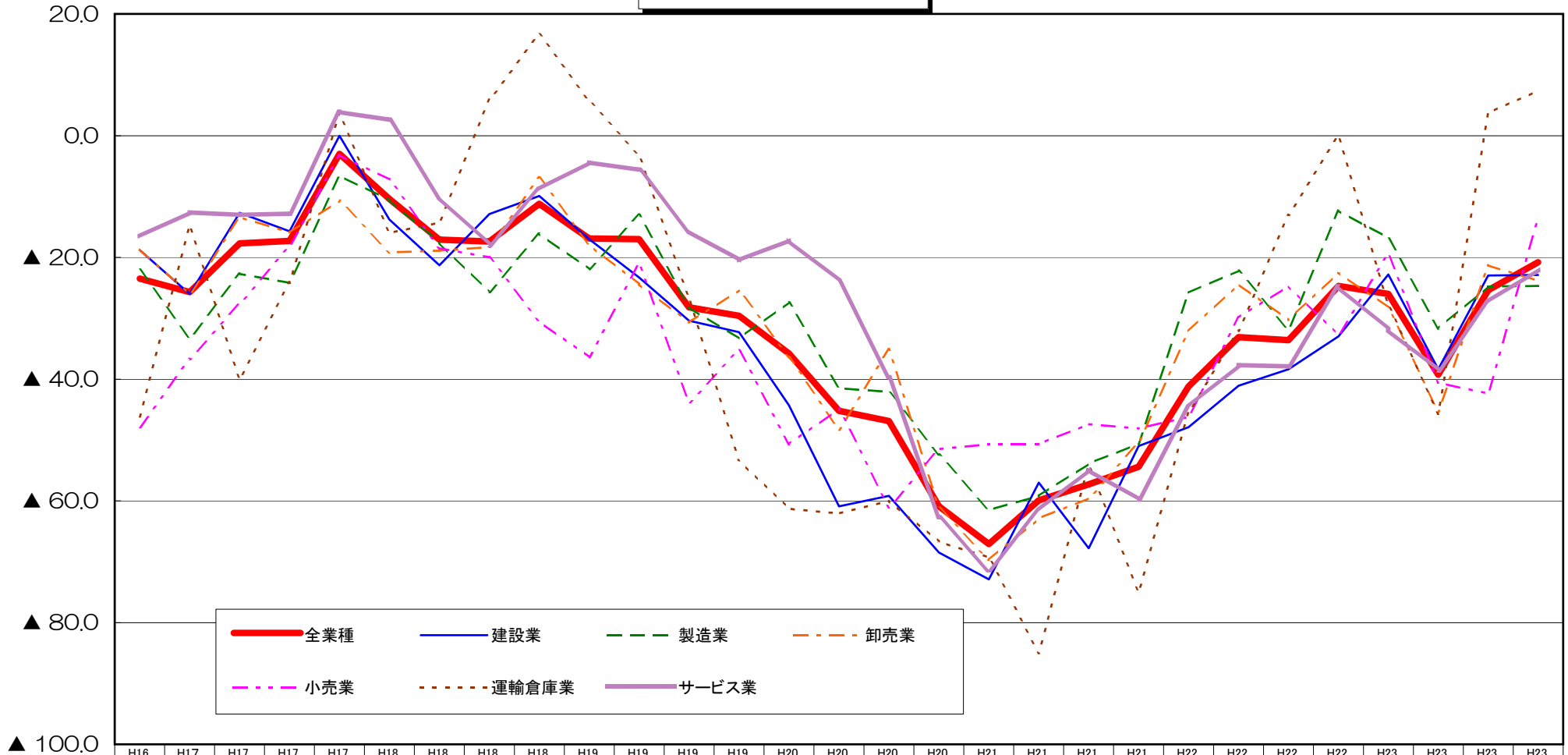
問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費 の増 加	営 業利 益の 低下	不隘 店、 舗、 駐、 車工 場場 用の 地狭	代店 化、 老朽 遅れ 化、 設備 過	が家 り賃 地代 の値 上	化難 、材 定難 、性 求の 人悪	費人 増手 過剩 、人 件	対労 策務 管理 、組 合	資 金借 入難	金 利負 担増 加	難情 報不 足、 人材	そ の他	無 回答
全業種	19.3	43.1	0.6	6.0	0.6	16.2	6.8	3.7	7.3	4.2	3.4	3.2	2.5
建設業	16.9	53.4	0.8	0.8	0.0	10.2	5.9	1.7	5.1	9.3	3.4	2.5	0.0
製造業	14.6	46.1	0.0	5.6	1.1	12.4	6.7	3.4	7.9	2.2	1.1	1.1	2.2
卸売業	20.4	35.4	1.8	5.3	0.0	8.0	4.4	3.5	3.5	3.5	0.9	3.5	3.5
小売業	20.5	35.6	1.4	8.2	1.4	19.2	9.6	2.7	6.8	1.4	1.4	2.7	1.4
運輸・倉庫業	25.9	33.3	0.0	7.4	0.0	40.7	0.0	7.4	0.0	0.0	3.7	7.4	3.7
サービス業	20.6	43.9	0.0	8.3	0.9	21.1	8.3	4.8	11.0	3.9	6.1	3.9	3.5
中小企業	19.1	44.6	0.7	6.4	0.3	17.2	7.0	3.5	7.9	4.5	3.7	3.0	2.3
大企業	22.0	24.0	0.0	2.0	4.0	4.0	4.0	6.0	0.0	0.0	0.0	6.0	4.0

自社業況の景況判断推移（「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考）

自社業況DI値の推移



自社業況DI値の推移



	H16. 10~12	H17. 1~3	H17. 4~6	H17. 7~9	H17. 10~12	H18. 1~3	H18. 4~6	H18. 7~9	H18. 10~12	H19. 1~3	H19. 4~6	H19. 7~9	H19. 10~12	H20. 1~3	H20. 4~6	H20. 7~9	H20. 10~12	H21. 1~3	H21. 4~6	H21. 7~9	H21. 10~12	H22. 1~3	H22. 4~6	H22. 7~9	H22. 10~12	H23. 1~3	H23. 4~6	H23. 7~9	H23. 10~12
全業種	▲ 23.5	▲ 25.7	▲ 17.7	▲ 17.3	▲ 3.0	▲ 10.4	▲ 17.1	▲ 17.4	▲ 11.2	▲ 16.9	▲ 17.0	▲ 28.2	▲ 29.6	▲ 35.8	▲ 45.2	▲ 46.9	▲ 60.9	▲ 67.1	▲ 59.9	▲ 57.3	▲ 54.4	▲ 41.2	▲ 33.1	▲ 33.6	▲ 24.7	▲ 26.0	▲ 39.3	▲ 25.4	▲ 20.8
建設業	▲ 18.8	▲ 26.0	▲ 12.7	▲ 15.7	0.0	▲ 13.8	▲ 21.3	▲ 12.9	▲ 9.9	▲ 17.0	▲ 23.3	▲ 30.4	▲ 32.3	▲ 44.3	▲ 60.9	▲ 59.2	▲ 68.5	▲ 72.9	▲ 57.0	▲ 67.8	▲ 51.0	▲ 47.9	▲ 41.1	▲ 38.4	▲ 33.0	▲ 22.8	▲ 38.4	▲ 23.0	▲ 22.9
製造業	▲ 22.0	▲ 33.3	▲ 22.7	▲ 24.2	▲ 6.6	▲ 10.6	▲ 17.6	▲ 25.7	▲ 16.1	▲ 21.9	▲ 13.0	▲ 28.2	▲ 33.3	▲ 27.4	▲ 41.5	▲ 42.1	▲ 52.4	▲ 61.5	▲ 59.2	▲ 53.9	▲ 50.6	▲ 25.8	▲ 22.2	▲ 31.9	▲ 12.3	▲ 16.8	▲ 31.7	▲ 24.8	▲ 24.7
卸売業	▲ 18.7	▲ 26.1	▲ 13.4	▲ 15.9	▲ 10.7	▲ 19.2	▲ 18.9	▲ 18.3	▲ 6.9	▲ 17.9	▲ 24.4	▲ 30.7	▲ 25.4	▲ 36.4	▲ 48.3	▲ 35.1	▲ 61.1	▲ 69.7	▲ 62.9	▲ 59.6	▲ 50.5	▲ 32.1	▲ 24.4	▲ 30.3	▲ 22.5	▲ 28.2	▲ 45.4	▲ 21.3	▲ 23.9
小売業	▲ 47.9	▲ 36.7	▲ 27.6	▲ 18.2	▲ 3.2	▲ 7.2	▲ 18.5	▲ 20.0	▲ 30.5	▲ 36.4	▲ 21.0	▲ 43.9	▲ 35.2	▲ 50.7	▲ 44.9	▲ 61.1	▲ 51.5	▲ 50.7	▲ 50.7	▲ 47.4	▲ 48.1	▲ 46.2	▲ 29.9	▲ 24.7	▲ 32.8	▲ 19.4	▲ 40.6	▲ 42.4	▲ 13.6
運輸倉庫業	▲ 46.2	▲ 14.8	▲ 40.0	▲ 24.1	3.6	▲ 16.0	▲ 14.3	5.9	16.7	5.7	▲ 3.2	▲ 26.7	▲ 53.3	▲ 61.3	▲ 62.1	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 69.3	▲ 85.0	▲ 54.1	▲ 75.0	▲ 45.4	▲ 32.1	▲ 13.0	0.0	▲ 27.8	▲ 45.7	3.7	7.4
サービス業	▲ 16.5	▲ 12.6	▲ 13.0	▲ 12.8	3.9	2.6	▲ 10.1	▲ 18.0	▲ 8.8	▲ 4.4	▲ 5.6	▲ 15.7	▲ 20.5	▲ 17.2	▲ 23.9	▲ 39.7	▲ 62.7	▲ 71.4	▲ 61.6	▲ 54.9	▲ 59.8	▲ 44.6	▲ 37.7	▲ 37.9	▲ 24.8	▲ 31.9	▲ 38.6	▲ 27.3	▲ 22.0